

# 里 だ よ り 2007.2

## NPO法人山野草の里づくりの会

### 1月の活動

暖かい日が続く、1月に始めた里山林機能回復整備事業や自生地の手入れが順調に進みました。作業をしても手足がかじかむこともなく、汗ばむことが多くありました。反面このような暖冬続きで、秋野菜が雪に埋もれず青々としていてもいいのかと心配になります。

#### 3日 新年茶会

今年も新年茶会を川畑さんのご好意で開催できました。理事長は、村の不幸ごとで最初の挨拶のあと欠席となりました。われわれの活動に興味を持たれた奈良教育大学から2名の参加があり、総勢13名が茶室を埋め楽しいひと時を過ごしました。お手前は栄嶋さんがつとめられ、2名の大学生にもお手前の手ほどきをされました。

#### 6日 仕事始め

あいにく朝から雨でしたので、この一年や当面の活動など自由に話し合い、大豆の選別、棚田の散策、七草摘みを行い、昼食に七草粥を楽しみました。止み間の出た午後には、下の倉庫の片づけと苺のマルチ張りをしました。



新年茶会で挨拶する理事長



七草を探し摘む



暖冬の霜、田の水 いずれも10日



### 10日、13日、27日、31日 里山林機能回復整備事業(1~4回目)

奈良県の環境税導入に基づく事業で、今年からの取り組みです。1月~3月の期間に、「子ども探検基地づくり」の雑木林20aを対象とし、侵入している竹を伐り、笹の刈り取りと広葉樹の間伐を行います。10日から4回にわたり取り組み、予定地域のモウソウチクの伐採は終わりかけています。しかし、竹は立派に育っていて、切り倒してから運び出すのに苦労しています。大量の竹をどうするか悩んでいましたが、ほとんどの竹は田んぼの水道工事(水はけ工事)に使われることになりました。残りを乾燥して、塀・柵・しがらみ・庇・クラフトなどに使います。間伐した雑木も、仕分け・乾燥の後クラフトに使ったり、結束して粗朶として池やビオトープの水際に使用することも考えています。よいアイデアがあればお教えください。13日には奈良教育大学の3名が初めて参加、昼食後いっしょに会のプレゼンテーションを見て活動の内容と目的を再認識しました。



上左 作業開始前(10日) 上中 作業4日目後(31日 頂上の竹がだいぶ減る。左奥にはまだ竹が残る。開始前の写真より左側から撮影)

右上と下 13日 下中 27日

### 17日、20日、24日 自生地の草刈、手入れ

17日午後、20日、24日午後の延べ2日間、スズラン自生地の手入れをしました。草刈は比較的簡単でしたが、周辺の土手のクロガリ(山裾)の笹が多く、時間がかかりましたが束ねて搬出しました。竹鉄砲などの工作や、農作物の支えやマルチの固定具など考え付きましたが、ほとんどは田んぼの水道工事に使ってもらえそうです。スズランの日当たりを考慮して桧2本を切り倒しました。24日午前中はササユリやキンランの自生地に入り、草刈りをしました。刈れた松の切り株や日陰地に刈り取った笹と草を積みました。作業の後、村の人たちが刈られた道をたどって山野草園に戻りました。



左1月17日 スズラン自生地 右1月20日

1月24日 ササユリ自生地 1月31日 マダケの乾燥

### 23日、30日 出張そば打ち教室

奈良県児童館協議会の交流会を昨年11月に「子ども探検基地」を中心に行う予定でしたが、悪天候で中止になりました。子供向けのそば打ちを予定していましたが、代わりにリーダーの方々の教室を依頼されました。23日は川西町文化会館で30名、30日は御所市民会館で14名にそば打ちを教えました。副理事長が先生、理事長が助手を務めました。かけそばを希望され、7割そばを数名のグループごとに協力して打っていただきました。あるグループでは団子になったり、水回しに苦労もしましたが、みなさん満足されていました。

### 27日 結び会(え)懇親会&新年会

昨年12月三輪で開催された「結び会(え)」参加者による新年会が橿原市のLa Bankで開かれ、理事長と副理事長が参加しました。理事長が短時間のPRコメントに立ちました。最近の大学生は「環境」に関心が強いのか、畿央大学の女学生が里山に興味を抱いてくれました。こちらからもPRに出かける必要があります。

### 湿地ピオトープづくり

赤い花のそば栽培地下方の棚田休耕田は2003年に復旧を始め、その後も毎年、草刈りを続けています。一部の棚田には花菖蒲を植えています。2005年に訪問されたシニア自然大学ピオトープ科から、「休耕田の湿地ピオトープ化」のアイデアをいただきました。6枚の棚田を測量すると13アールほどあります。2006年にはより具体的な計画案をいただいています。今年度には具体化する予定です。10日にはボランティアのみなさん、28日は村の会員により草刈りを行いました。

10日の様子が読売新聞奈良版で報道されました。



### 寄稿「会の活動を体験して」

昨年6月から熱心に参加していただいています松田政廣さんから、「ボランティア活動の理解を得る方法や活発な活動のためのアイデア」を「会の活動を体験して」と題していただきました。別刷りで会員全員とボランティアしていただくみなさんにお送りします。みなさんのいろいろな提言やアイデアをお待ちしています。

### 1月の花、面白い虫、生き物



ツバキ



赤い蕪に2つの茎???

雑木林に入るとノウサギの糞が多く見られます。



コウヤボウキの実



ツワブキの実



春の七草  
右上から右回りに  
セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、スズシロ、スズナ、ホトケノザ

## 山野草の里・山野草園にこれから咲く花

2月 サザンカ、ツバキ、シナマンサク、ウメ、オオイヌノフグリ、ハコベ、タンポポ

3月 ヤマネコノメソウ、タネツケバナ、タチツボスミレ、ノミノフスマ、ワサビ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、シロバナショウジョウバカマ、セリバオウレン、ユキワリソウ、フクジュソウ、フッキソウ、フキ、ツクシ、ダンコウバイ、アセビ、ミツマタ、ナニワズ、ジンチョウゲ、ヒサカキ、シキミ

### 2月・3月の活動日

**あなたのご参加を  
お待ちしております!**

- 2月 3日(土) 活動日  
7日(水) 活動日  
10日(土) 活動日  
14日(水) 活動日  
17日(土) 活動日  
21日(水) 活動日  
24日(土) 活動日  
24日(土)～25日(日) 環境パートナーフォーラム 奈良市生涯学習センター(奈良市杉ヶ町)  
環境保全活動団体の活動展示 当会からも展示します
- 24日 里山シンポジウム  
13:30 講演「竹林の適正管理から見る里山資源の有効性」柴田昌三氏  
14:40 事例報告とディスカッション 福岡理事長ほか3名
- 25日 10:00 環境教育フォーラム ～環境教育・学習の支援について考える～  
13:00 講演「コウノトリの復活を軸にした里づくり」菊地直樹氏 ほか
- 28日(水) 活動日
- 3月 3日(土) 活動日  
7日(水) 活動日  
10日(土) 活動日  
14日(水) 活動日  
17日(土) 活動日  
21日(水) 活動日  
24日(土) 活動日  
28日(水) 活動日  
31日(土) 活動日

「活動日」の内容： 里山林機能回復整備事業(子ども里山探検基地づくり)、自生地の管理、山野草園の管理、ビオトープづくり、野菜畑の管理、味噌づくりなど

- ・天候などの都合により活動内容を変更又は中止する場合があります。参加いただける方は、当日午前8時頃までにお問い合わせください。前もって参加の連絡をいただいた方には当方からご連絡します。
- ・いずれも午前9時30分に山野草園へ集合願います。
- ・平日は弁当をご持参願います。土曜または日曜の活動日には、ボランティアしてくださる方の昼食はみんなで作ります。予め参加のご連絡をお願いします。
- ・作業のできる服装でお願いします。シャワー設備があります。
- ・ご連絡、お問い合わせは下記までお願いします。

NPO法人山野草の里づくりの会 <http://www.sanyasou.org/>

〒633-0102 桜井市三谷528番地 福岡定晃内

TEL/FAX 0744-48-8105(福岡) E-mail [fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp](mailto:fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp)

編集 芳原